

人と人とのつながりを生む場所をつくりたい “ねことしょ”へかける思い

私たちが牟岐で最初に関わった活動が、
出羽島でのグランドデザインワークショップでした。

ミセ作りの家が並ぶメインストリート、
道端に止まっているねこ車、
あたたかな気候や、港に咲くハイビスカス……
どこか違う世界に来たようにさえ感じてしまう空気感が、そこにはありました。

島のおばちゃんは「島には何も無いけん」と言うけれど、
私たちには、その一つ一つがたまらなく魅力的に映りました。

「この島で、気の向くままにのんびり読書ができれば。」
「島に住む人、島を訪れる人が“本”を通じて繋がれる場所になれば。」
ふとそんなことを思った時、
島全体を図書館に見立てるアイデアが浮かびました。

私たちが出羽島に出会って一年が過ぎた今、
家具デザイナーの鴻野祐さんと出会い、
島を動く図書館「ねことしょ」という形で
思いが具現化されることになりました。

次の船までの間の、ほんのひとときや、
町の喧噪を逃れ、羽休めするときに、
「ねことしょ」で過ごす島の時間、島の人とのふれあいを
愛おんでももらえればと願っています。

わざわざ「本を読みに行く島」って素敵じゃないですか。

企画・運営

「ねことしょ」製作

特定非営利活動法人ひとつむぎ

鴻野 祐